

古事類苑

器用部二十六

舟下 筏併入

船具

〔八雲御抄三下〕雜物部 附調度

船具 かし ほ いかり にくさび 万舟にかくるもの也、ほて ほなは とま ろか

ひ やかた つなで略○中 さほ 見なれざほ○水になれたる也 まかち やかち とり

をも略○中 みくさみ 舟ばらに草をあみたる物なり

櫓

〔倭名類聚抄十一〕櫓 唐韻云、與魯同、所以進船也、

〔箋注倭名類聚抄三〕按説文、無櫓字、古用櫓字、説見屋宅類、櫓條、釋名、櫓、齊也、用齊力、然後舟行也、

太平御覽引、齊作旅、按船櫓之並列船旁、其形如盾、櫓之並植、却敵城上也、

〔伊呂波字類抄呂〕櫓口、舟、櫓也、 櫓同 俗用此作也

〔運歩色葉集路〕櫓イ也舟

〔饅頭屋本節用集呂〕櫓財、舟

〔書言字考節用集七〕櫓活、法、進船、又通、櫓字、其形似、櫓、以承、櫓者、蓋、逆、櫓難、風

〔和漢船用具十一〕櫓 小名、櫓、脚、雜、字、今、櫓、の、葉、と、云、入、子、雜、字、大、全、櫓、杭、と、云、なる、腕、柄、違、繩、上

あり、さきたかい、まいたかいと云、

棹櫓 今繼て用る故、繼がざる者を棹櫓と云、又搖櫓、からると云は、櫓を押すの名、逆櫓と云は、櫓